

市議会議員
かけのまち子

電話/Fax 53-7727
kakenom@xj.commufa.jp



市議会議員
みわ 陽子

電話/Fax 54-6712
yokko0520mi@yahoo.co.jp



NO466 2020.10.1
日本共産党江南市委員会

あすの江南

前市議 森ケイ子 電話/Fax 57-2753
前市議 東よしき 電話/Fax 54-7977

* 困り事は早めにお気軽にご相談ください

日本共産党江南市議員団 HP 

検索 

9月定例会の報告

財政圧迫、市民サービス削減招くおそれ

布袋駅東複合公共施設契約、賛成多数で可決

9月定例会最終日、市議会はずべての市長提案を可決。2つの請願のうち、新日本婦人の会江南支部から提出された「少人数学級の推進を求める請願」を不採択に。他の請願と3意見書案を可決し閉会しました。

日本共産党議員団は、税金のムダづかいを正し市民生活を守る立場から、2019年度一般会計決算認定、布袋駅東複合公共施設整備契約、補正予算など7議案に反対し、請願と意見書にはすべて賛成しました。

新婦人から提出された請願に対し、採択すべき立場で、三輪陽子議員が討論しましたが、不採択の立場から討論に立った議員は誰もいませんでした。

(党議員団が行った主な討論は市議団HPに掲載しています)

すべて予定価格ギリギリの巨額の事業費 (消費税込み)

	契約額	予定価格
施設整備費	43億7767万円	43億7770万6千円
維持管理業務費 (30年間)	21億573万円	21億609万円
駐車場賃料 (30年間)	2億5660万8千円	2億5662万円

公共施設利用者100台分の駐車場代金を30年間にわたり、市が事業者を支払う

地代収入	契約額	予定最低価格
定期借地権契約 (30年間)	157円/㎡・月	157円/㎡・月
契約面積 4492.58㎡		
契約額 2億5392万8500円		

待望の新図書館、子育て拠点のはずが PPP/PFIで大手事業者のいいなりに

布袋駅東複合公共施設などの事業者が決まったのは、東証一部上場の不動産関係総合企業「スターツコーポレーション」グループ。設計監理が三上建築事務所。施工はスターツCAM・波多野工務店(江南市内業者)建設共同企業体。維持管理はスターツファシリティサービス。駐車場運営は中部スターツ。スターツグループが30年間にわたりこの事業全体を統括することになります。

スターツグループは、市街化区域に編入の計画がある布袋駅東地域一帯の住宅開発に今後進出することを狙い、複合公共施設整備事業に手を挙げたことを明らかにしています。

市民参加、情報公開が欠落 施設までの市民の足の確保なし

幾度もの挫折を経てようやく新図書館ができることは、待ち望んだ市民にとって嬉しい反面、PPP/PFI的手法のために、大切な情報公開と市民参加が決定的に欠落。図書館に対する関心を高めるせっかくの機会が生かされませんでした。

車に乗れない市民からは、新図書館まで行く交通手段がない、巡回バスをとの強い要望が出されていましたが、この声にも全く応えていません。



高すぎる予定価格、ギリギリ市の要求上回る余分な設備も

契約額(上表)は、高額すぎ納得できないと党議員団が追及してきた予定価格の、ギリギリの額。その上、市が要求した水準書内容を上回る、エレベーター5基やエスカレーター2基もの過剰な設置、最新ICT機器など贅沢すぎる設備も事業者提案で盛り込まれ、必要な設備に絞った仕様になっていません。

年間8億円もの事業スクラップを断行しなければならないほど財政が厳しい江南市に、ふさわしい施設とはとてもいえません。

参入予定事業者との繰り返しの事前対話等を通し、市側が譲歩を強いられ、事業者側が最大限の利益を得た格好です。PPP/PFI的手法の弊害がはっきりと表れました。

コロナ禍で財政がいつそう厳しくなる中、大型事業延期の自治体も 暮らし支援を優先し、江南の身の丈にあった施設に市民参加で練り直しを

コロナ禍で特に非正規労働者、中小零細業者の暮らしと営業は窮地に陥っています。暮らし支援を優先させる時です。また、コロナ不況で、市税収入が大きく落ち込むことは必至。老朽化が著しく緊急を要する、学校給食センターや老人福祉センターの建て替えを優先するべきではないでしょうか。

多くの自治体が、財政悪化と先行き不透明を理由に、大型事業の延期を決めたと報道されています。コロナ禍が落ちつき、地域経済と市民生活が通常の状態に復活するまで、事業を延期し、あらためて江南市の身の丈にあった複合公共施設に、市民参加で練り直すべきではないでしょうか。